



Trinnov App. user manual

V3.0 - 03/2019



TRINNOV | HIGHEND | TRINNOV | PRO-AUDIO | TRINNOV | CINEMA





[Trinnov menu / check for update](#)

[Trinnov menu / Preference](#)

[Windows/gateway status](#)

[Windows/machine remote](#)

[Control / Connect to machine](#)

[Machine custom name](#)

[Control/monitoring features \(Mute/Dim, Volume up & down, talkbacks\)](#)

[Control / machine interface](#)

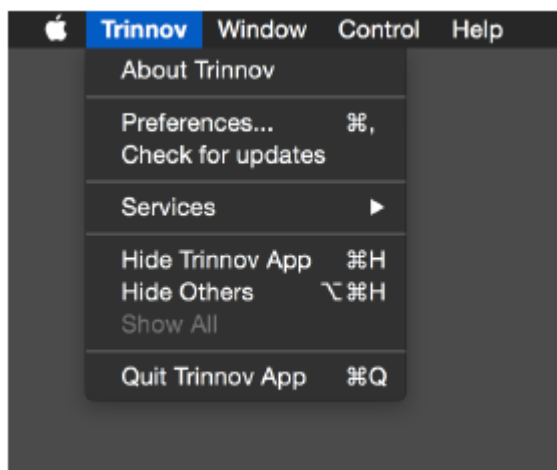
[Control/machine backup](#)

[EUCON](#)





Trinnov menu / check for update

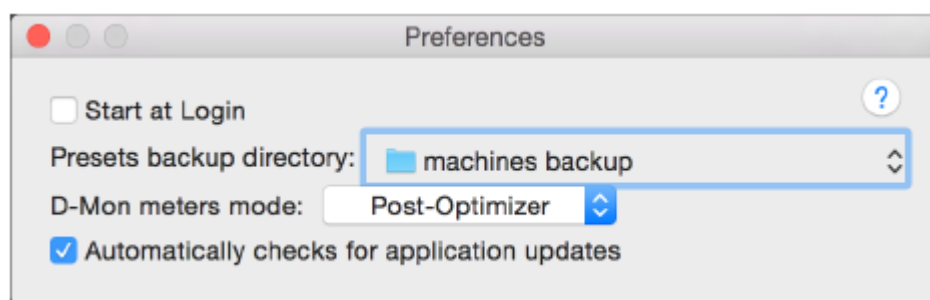


新しいバージョンがリリースされると自動的にお知らせします。

常に最新バージョンを使用されることをお勧めします。新しいバージョンが利用できる場合リリースノートが表示されます。

これには修正されたバグや変更、新機能などの更新情報を知ることができますので、アップデートのタイミングの判断を行う手がかりとなります。

Trinnov menu / Preference



ユーザー エクスペリエンスを簡素化するために、設定ウィンドウのデザインを再設計しました。すべてのマシン接続機能は、「コントロール」トップメニューから利用できる、いわゆるパネルに配置されています。

事前に設定した バックアップディレクトリ は、リモートマシンのバックアップの基本的な場所であり、ディレクトリツリーが内部に作成されます（デバイスごとおよびバックアップ日ごと）。

DMon meter mode は、フローティング メーター ウィンドウ の信号を、オブティマイザーの入力（入カステージ, ソースのサミング後, ソースゲイン適用後）または出力（after all optimization process（すべての最適化処理後）, bass management（ベースマネージメント）, cross-overs（クロスオーバー）, main volume gain（メインボリュームゲイン））から選択することができます。

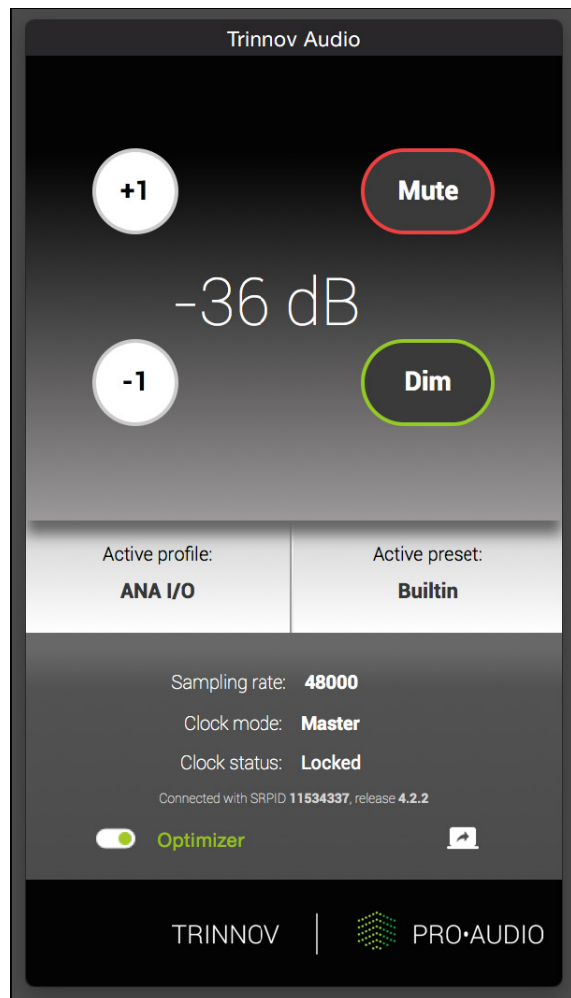
Windows/gateway status

本書末尾の“EUCON”を参照してください。





Windows/machine remote



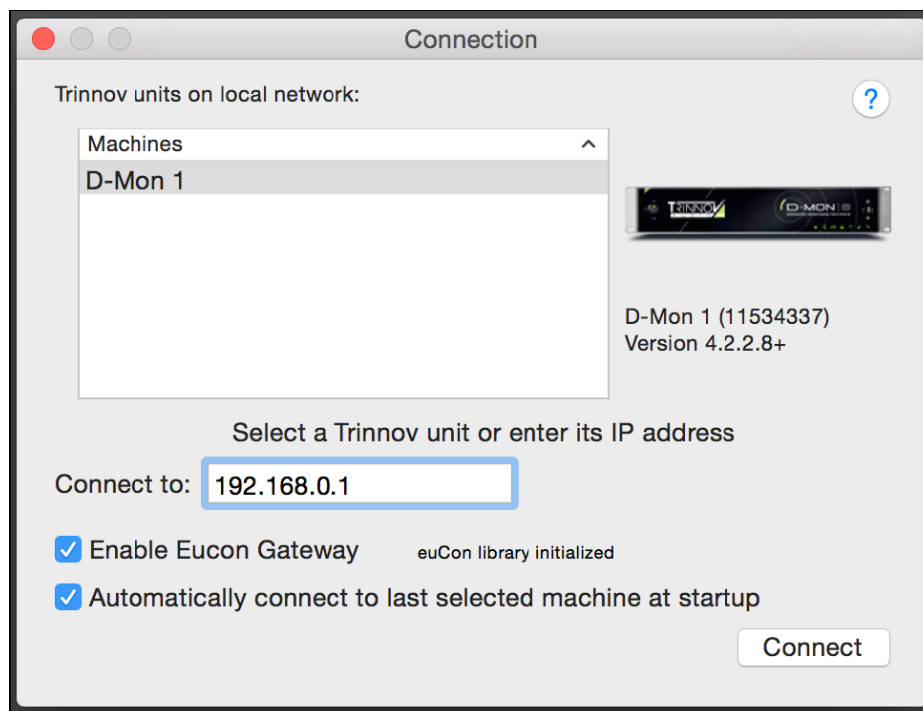
デバイスに応じて、Trinnov App は Trinnov プロセッサのメインコントロールパネル（ソフトウェアを搭載したWebベースのデバイスの場合はバージョン4以降で対応）、または基本機能を制御するための最小限のリモートコントローラーを表示します。

左図の場合、現在の Preset と Profile を変更することが可能です。

Preset / Profile ボタンをクリックして、ロードしたいターゲットアイテムを選択します。



Control / Connect to machine



ここから制御したいマシンを選択することができます。検出されたすべてのローカルマシンが自動的にここにリストアップされます。リストの中から1台を選択すると、そのIPアドレスがターゲットの「connect to」フィールドにコピーされます。

検知には、ZeroConf/Bonjour 規格または独自のブロードキャストパケットが使用されます。ネットワークの制限によりマシンが検出されない場合、IPアドレスを手動で入力することができます。

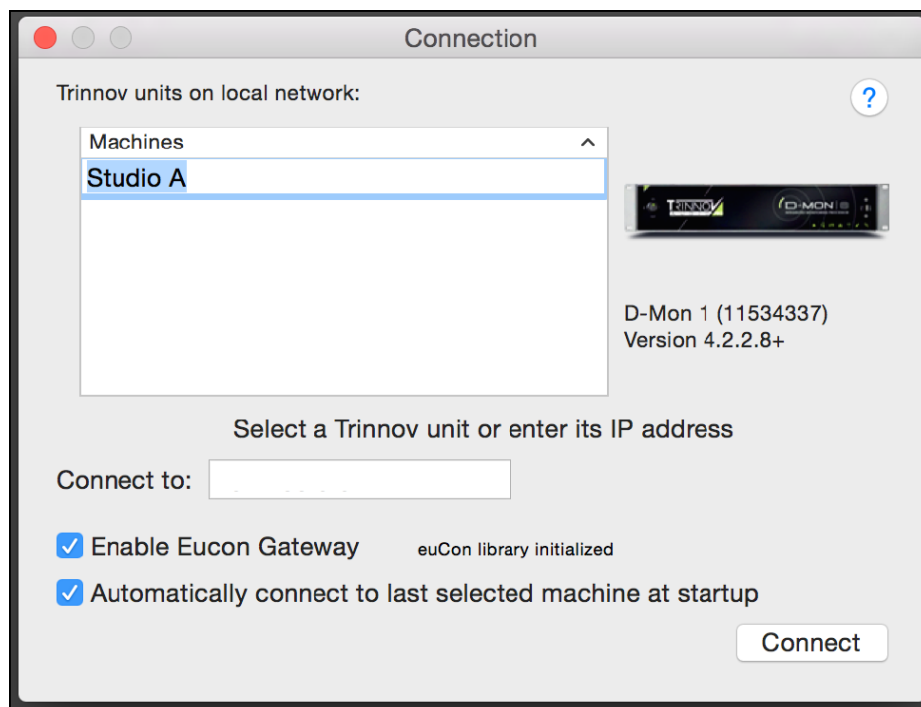
マシンとこのアプリケーションの間の制御プロトコルは、標準的なHTTPポート80を使用します。

マシンのソフトウェアバージョンがリリース4より前の場合は、ポート 44100 に Trinnov社独自の telnet プロトコルが使用されます。そのため、それらのマシンをコントロールするには、IPアドレスのサフィックスとして «:44100» を «connect to» フィールドに記入してください。この場合、ネットワーク上のこのポートを許可する必要があります。

アプリケーションの EUCON の機能を使用する場合は、対応するチェックボックスを選択し、ワークステーションの EUCON service 内に Trinnov を登録する必要があります。



Machine custom name



デバイスリストに表示されるデバイスの名前を、ローカル構成に合わせて変更することが可能です。これを行うには、リストでマシンを選択し、名前をもう一度クリックします（ダブルクリックではありません）。

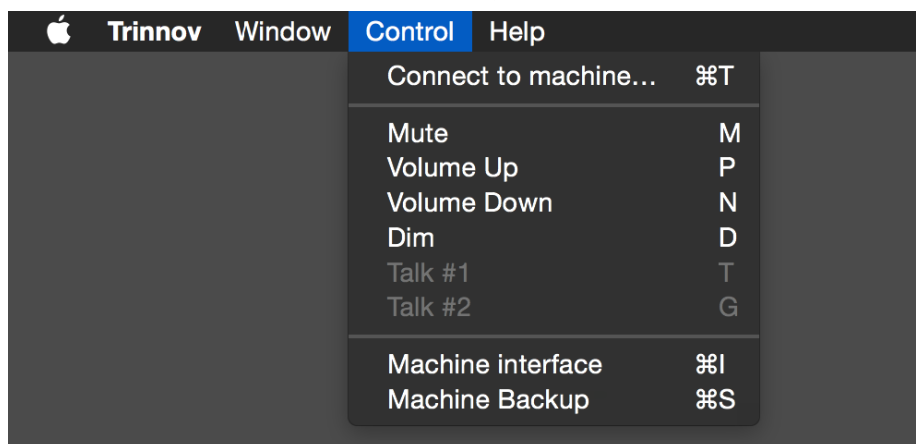
新しい名前を入力し、"return"で有効にします。マシンのカスタム名はマシン自体に保存されるため、ローカルネットワーク上の他のワークステーションにもこの名前が表示されます。この機能は、以下のユーザーのみ利用可能です。

最新のソフトウェアバージョン4のユーザーのみが利用できます。



Control/monitoring features (Mute/Dim, Volume up & down, talkbacks)

このメニューや関連するショートカットを使ってデバイスを操作することができます。現在のデバイスに適用されない場合は、トークバックエントリーが無効になることがあります。

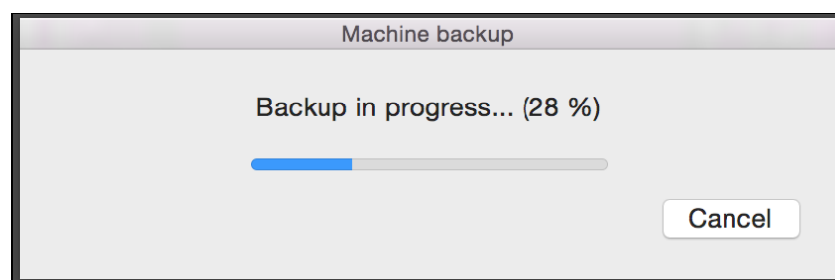


- **Control / machine interface**

ご使用機器のリモートインターフェースを開きます。パスワードは必要ありません。

- **Control/machine backup**

Machine Backup は、Preset, マイク補正ファイル, PDFレポート, スナップショット, Profile, ユーザーEQやカーブなど、すべてのマシンパラメータをワンクリックで保存することができます。



バックアップ中に進捗状況が表示され、プロセス終了時にはバックアップの検証が行われます。





EUCON

Avid® EUCON対応のハードウェア（S6, Dock, iPadアプリなど）とTrinnovデバイスを簡単に統合し、モニタリングコントロール（メインボリューム、ディム、ミュートなど）を行うことができます。EUCONは双方向のコマンドが可能な強固なプロトコルです（Trinnovからサーフェスへのステータスレポート、サーフェスからTrinnovへのオーダー）。

お使いの Trinnovデバイスによっては、基本機能のモニタリングのみ可能です。ミックスバス/キューや、複数のソースを入力で SUM するなどの高度な機能は、D-Monユーザーのみが利用できます。

ワークステーション上で動作するTrinnovアプリは、お客様のTrinnovシステムとEUCONコントロールデバイス間のゲートウェイとして機能します。ステータスウィンドウには、このゲートウェイの2つの側面が表示されます。一方ではTrinnovデバイスへのアップリンクが、もう一方ではEUCONの初期化とリンク状態が表示されます。この機能を使用するには、Trinnovアプリケーションの起動前に、最新のAVID® EUCONパッケージがワークステーションにインストールされている必要があります。